

フレッツ 光ネクスト限定

光BBユニット利用

# ひかり電話機能設定ガイド

## はじめに

### 「ひかり電話機能」とは

NTTが提供する「ひかり電話」サービスを、ソフトバンクBBが提供する光BBユニットを接続してご利用いただけます。NTTが提供するひかり電話対応機器の接続は不要です。

※NTT東日本／NTT西日本が提供するひかり電話対応機器を接続して利用する「ひかり電話」と、一部提供内容が異なる場合がありますので、ご了承ください。



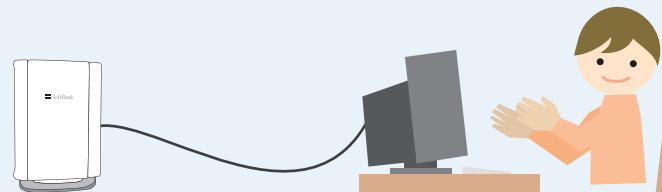
電話機を光BBユニットに接続して利用します



NTTの提供する  
ひかり電話対応機器は  
使用しません

### 本設定ガイドのご利用方法

本ガイドでは、「ひかり電話機能」をご利用いただくために必要な光BBユニットの設定方法をご案内します。  
「ひかり電話」のサービスに関する詳細は、NTT東日本／NTT西日本からお届けするご案内書にてご確認ください。



パソコンを使用して光BBユニットの設定を行います

# ひかり電話機能設定ガイド 目次

- 
- 1 はじめに**
  - 2 目次**
  - 3 ひかり電話機能ご利用のために**
    - BBフォンにお申し込みの場合の発信方法
  - 4 ひかり電話機能の使い方**
  - 5 光BBユニットを使ってひかり電話機能を設定・確認する**
  - 6 ひかり電話の各種サービス設定**
    - ナンバー・ディスプレイ
    - キャッチホン・ディスプレイ
    - モデムダイヤルイン
    - 割込音通知
  - 7 ひかり電話機能の番号設定**
    - 通知番号
    - 着信番号
    - 着信音選択
  - 8 IP端末の内線設定**
    - 内線番号
    - ニックネーム
    - 端末属性
    - MACアドレス
    - ダイジェスト認証
    - ユーザID
    - パスワード
    - 通知番号
    - 着信番号
  - 9 メディア変更機能**
  - 10 音声優先モード**
  - 11 ひかり電話発着信履歴**
  - 12 ひかり電話機能ご利用Q & A**
    - ひかり電話機能に申し込みましたが、いつから使用できますか？
    - ひかり電話機能で発信したいときはどうやって利用すれば良いですか？
    - BBフォンに申し込んでいますが、ひかり電話機能発信と区別がつきません。
    - 停電時にひかり電話機能を使用することはできますか？
  - 13**
    - ひかり電話機能で発信することができません。
  - 14**
    - 電話機のディスプレイに着信番号が表示されません。
  - 15**
    - BBフォンに申し込んでいますが、短縮ダイヤルを利用してひかり電話機能で発信できません。
    - ひかり電話の付加サービス「キャッチホン」に申し込んでいれば、BBフォンの通話中にもキャッチホンが利用できるのですか？
    - 「セットアップメニュー」でひかり電話機能の詳細が設定できません。



# ひかり電話機能ご利用のために



ひかり電話機能をご利用いただくために、下記のご注意事項をご確認ください。

ひかり電話機能のご利用には、光BBユニットが必要です。

NTT東日本が提供するひかり電話ルータ、またはNTT西日本が提供するひかり電話対応機器と、ひかり電話機能を併用してひかり電話をご利用いただくことはできません。

※回線終端装置(ONU)／宅内端末装置(VDSL)とひかり電話対応ルータが一体型の場合、機器交換工事が必要となります。工事の詳細につきましては、NTT東日本／NTT西日本へご連絡ください。



NTTの提供する  
ひかり電話対応機器

「ひかり電話機能」は、フレッツ光ネクストをご利用のお客様を対象としたサービスです。

光BBユニットの電話機ポートは、1つとなります。そのため、アナログ電話機等を2台以上接続して、複数チャネル／追加番号／優先着信機能／指定着信機能をご利用いただくことはできません。

BBフォンにお申し込みのお客様がひかり電話を使って発信される場合は、ご注意が必要です。右ページをご参照ください。

# BBフォンにお申し込みの場合の発信方法



ソフトバンクBBが提供するBBフォンにお申し込みのお客様は、BBフォンでの通話が優先となります。ひかり電話機能を使っておかげになりたい場合は、電話番号の前に、「0000」(ゼロを4回)をダイヤルしてください。

## BBフォンにお申し込みの場合の発信方法

「0000」(ゼロを4回) + 発信したい電話番号

### ひかり電話機能で発信する



お客様



NTTが提供する104(番号案内)、116(営業受付)、117(時報)をご利用になりたい場合も、同様に「0000」(ゼロを4回)ダイヤルしてください。

### BBフォンで発信する

発信したい電話番号をそのままダイヤルでBBフォン通話



NTTが提供する「ひかり電話A」「安心プラン」「もっと安心プラン」の月額基本料に含まれる通話料を利用したい場合は、発信したい電話番号の前にゼロを4回ダイヤルすればいいんだね。



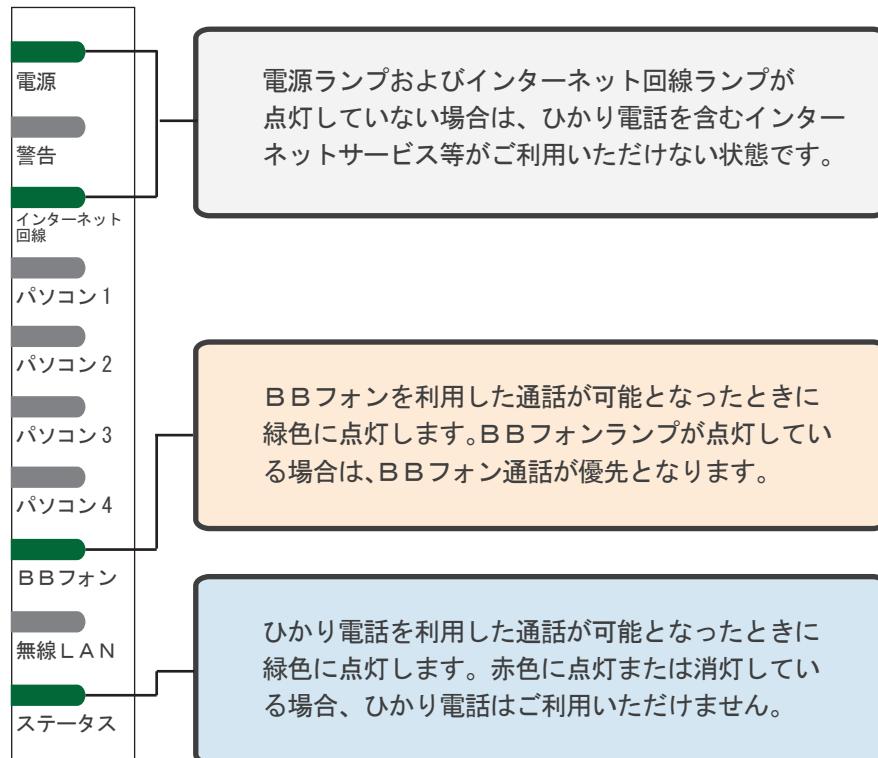
# ひかり電話機能の使い方



光BBユニットの接続が完了した後に、光BBユニットのステータスランプが緑色に点灯したらひかり電話をご利用いただけます。

## 光BBユニットのランプ点灯例

### 光BBユニット前面



## ひかり電話の発信方法

BBフォンにお申し込みの場合  
(BBフォンランプが緑色点灯時)

BBフォンにお申し込みでない場合  
(BBフォンランプが消灯時)

光BBユニットのステータスランプが緑色に点灯していることを確認します。



受話器を取り上げ、「ツー」という音を確認します。

電話番号の前に「0000」(ゼロを4回)をダイヤルします。  
BBフォンランプが橙色になったら、続けて相手の電話番号をダイヤルします。



相手の電話番号をダイヤルします。

呼び出し音を確認します。



ひかり電話では、下記サービスの発着信が可能です。

- NTT東日本／NTT西日本の加入電話およびISDN
- 国際電話（世界約200の国と地域）
- 携帯電話、PHS
- IP電話サービス（O50IP電話サービス）
- 他社の提供する一般加入電話サービス

ひかり電話で発信できない番号は、NTT東日本／NTT西日本よりお届けのご案内書でご確認ください。

# 光BBユニットを使ってひかり電話機能を設定・確認する



光BBユニットでひかり電話機能に関する設定や確認が必要な際には、次に説明する手順に従って「セットアップメニュー」画面にログインしてください。

1

Internet Explorer を起動し、アドレス欄に **http://172.16.255.254/** を半角で入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。

**!** セキュリティ警告画面が表示された場合は [OK] をクリックしてください。

2

設定画面を表示させるための「ユーザー名」と「パスワード」を入力する画面が表示されます。

**ユーザー名** : **user**  
**パスワード** : **user**

と入力し、[OK] をクリックします。

**!** 「user」はすべて小文字で入力してください。

3

Internet Explorer に「セットアップメニュー」画面が表示されます。

**セットアップメニュー**

設定モード選択

**WPS 設定** WPS(Wi-Fi Protected Setup)にて無線LANの設定を行います。  
無線LANの設定を確認します。

**詳細設定モード** 全ての機能を設定します。(上級者向け)  
PPPoE 設定 PPPoEのオプション設定をします。

ひかり電話機能の設定は [詳細設定モード] で行います。

設定・確認されたい項目をご確認ください

## ■ ナンバー・ディスプレイ

初期値 有効

6

ナンバー・ディスプレイご利用設定を変更できます。

## ■ キャッチホン・ディスプレイ

初期値 無効

6

キャッチホン・ディスプレイのご利用設定を変更できます。

## ■ モデムダイヤルイン

初期値 無効

6

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、1台の電話機で複数の電話番号を使い分けられます。

## ■ 割込音通知

初期値 有効

6

ダブルチャネル／複数チャネルにお申し込みの場合、お話し中にかかってきた電話に割込音でお知らせします。

## ■ ひかり電話の番号設定

初期値 無効

7

ひかり電話の番号に対し、発信時に相手先に通知される番号を選択したり、着信音を選択することができます。

## ■ IP端末の内線設定

初期値 有効

8

光BBユニットに接続された複数の電話機どうしを内線としてご利用いただく際に、内線番号等を設定することができます。

## ■ メディア変更機能

初期値 許容

9

ひかり電話で通話しながらデータの送受信ができる「メディア機能」の設定を変更できます。

## ■ 音声優先モード

初期値 無効

10

音声パケットを優先することで、音声品質を改善することができます。

## ■ ひかり電話発着信履歴

初期値 無効

11

ひかり電話の発信・着信の履歴が一覧で確認できます。

## 設定前のご注意

- 各サービスをご利用になるには、NTT東日本／NTT西日本へお申し込みいただく必要があります。
- サービスの詳細は、NTT東日本／NTT西日本からお届けのご案内書をご確認ください。



光BBユニットとパソコンが接続された状態で「セットアップメニュー」(5)より、各種設定の変更を行います。

- 1 「詳細設定メニュー」画面の左側に表示されたメニューから、[内線設定]をクリックします。

- 2 [アナログ端末]と表示されている欄の、[編集]ボタンをクリックします。

3

設定を変更したい項目欄の  
[有効]に✓し、[OK]ボタンをクリックします。

## 設定項目一覧

ナンバー・ディスプレイ  
[初期値] 有効

ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は [有効]に✓  
※サービスをご利用になるには、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。  
※ナンバー・ディスプレイを契約されていない場合や、ナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は✓を外してください。  
※電話機の種類によっては発信者番号などが正しく表示されない場合があります。

キャッチホン・ディスプレイ  
[初期値] 無効

キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合は [有効]に✓  
※ナンバー・ディスプレイを [有効]に設定した場合のみ設定可能です（ナンバー・ディスプレイの有効に✓が入っていないとご利用になれません）。

モデムダイヤルイン  
[初期値] 無効

モデムダイヤルインをご利用の場合は [有効]に✓  
※1台の電話機で複数の電話番号をご利用いただけるサービスです。  
※モデムダイヤルイン対応の電話機等が必要です。操作方法はご利用の電話機等の取扱説明書をご覧ください。

割込音通知  
[初期値] 有効

割込音通知をご利用の場合は [有効]に✓  
※ダブルチャネル／複数チャネルにお申し込みの場合、お話し中にかかってきた電話を割込音でお知らせするサービスです。  
※FAX通話中の電話機には割込音通知は作動しません。別の電話機で着信しない場合、発信者側にはお話し中音が聞こえます。

4

「設定内容を登録しました。」と表示されます。

画面の案内に従って、左側のメニュー欄下の [再起動] をクリックすると、光BBユニットが再起動し、設定が変更されます。

以上で設定は完了です。

# ひかり電話機能の番号設定

通知番号

着信番号

着信音選択

## 設定前のご注意

- ひかり電話の電話番号を複数お持ちの場合は、それぞれの番号に対して設定を行います。



光BBユニットとパソコンが接続された状態で「セットアップメニュー」(5)より、各種設定の変更を行います。

- 1 「詳細設定メニュー」画面の左側に表示されたメニューから、[内線設定]をクリックします。

- 2 [アナログ端末]と表示されている欄の、[編集]ボタンをクリックします。

3

設定を変更したい電話番号に対し、該当する各項目に✓した後、[OK]ボタンをクリックします。

## 設定項目一覧

通知番号	発信時、相手先に通知される電話番号を選択 ※ひかり電話の電話番号を複数お持ちの場合のみ選択可能です。
着信番号	電話番号に対し、着信させる場合に✓ ※着信させたい全ての電話番号に対し、✓してください (✓されていない電話番号では着信できません)。
着信音選択	電話番号あるいは外線と内線とで着信音を変えたい場合に設定 ※「IR」…着信音が1秒あり+2秒なしを繰り返します。 「SIR」…着信音が0.3秒あり+0.3秒なし+0.3秒あり+2.1秒ありを繰り返します。

※「指定着信機能」、「指定着信番号」、「指定なし着信」は、現時点でサービスの提供はございません。

4

「設定内容を登録しました。」と表示されます。  
画面の案内に従って、左側のメニュー欄下の[再起動]をクリックすると、光BBユニットが再起動し、設定が変更されます。

以上で設定は完了です。

## 設定前のご注意

- 光BBユニットに接続されたIP端末の設定を変更します。
- 光BBユニットに接続可能な端末は最大6台までとなり、同時に使用できる内線番号は最大6つまでです。
- ひかり電話機能が使用できない状況では、内線通話もご利用いただけません。



光BBユニットとパソコンが接続された状態で「セットアップメニュー」(5)より、各種設定の変更を行います。

- 1 「詳細設定メニュー」画面の右側に表示されたメニューから、[内線設定]をクリックします。

- 2 [映像端末] または「音声端末」と表示されている欄の、[編集]ボタンをクリックします。

3

設定を変更したい内線番号および電話番号に対し、該当する各項目を設定した後、[OK]ボタンをクリックします。

## 設定項目一覧

内線番号	お好きな番号(2桁まで)に変更可能 ※重複した番号はご利用できません。
ニックネーム	お好きな名称(64文字以内)に変更可能 ※スペースおよび「」を除いた半角英数字と記号で設定してください。
端末属性	「映像端末」「音声端末」のいずれかを選択 ※接続された電話機の種類にあわせて自動的に設定されます。映像端末をご利用の場合は音声端末へ設定を変更されると、正常に動作しない場合があります。
MACアドレス	IP端末のMACアドレスを入力
ダイジェスト認証	IP端末とのダイジェスト認証を行うか選択 ※ユーザIDとパスワードを使用したダイジェスト認証を行う場合は有効にしてください。
ユーザID	任意のID(最大64文字)が設定可能 ※ダイジェスト認証で使用するパスワードを設定できます。 ※スペースおよび「」を除いた半角英数字と記号で設定してください。
パスワード	任意のパスワード(最大64文字)が設定可能 ※ダイジェスト認証で使用するパスワードを設定できます。 ※スペースおよび「」を除いた半角英数字と記号で設定してください。
通知番号	発信時、相手先に通知される電話番号を選択 ※ひかり電話の電話番号を複数お持ちの場合のみ、選択可能です。
着信番号	指定した電話番号に対して、着信させる場合に✓ ※着させたい全ての電話番号に対し、✓してください(✓のない電話番号では着信できません)。

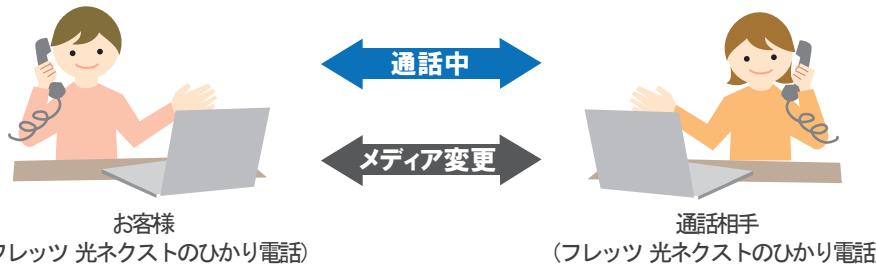
4

「設定内容を登録しました。」と表示されます。  
画面の案内に従って、左側のメニュー欄下の[再起動]をクリックすると、光BBユニットが再起動し、設定が変更されます。

以上で設定は完了です。

# メディア変更機能

フレッツ 光ネクストのひかり電話どうしで、光BBユニットに接続された端末を用いて通話している場合は、通話しながら画像ファイルなどのデータを送受信（メディア変更）することができます。



## 設定前のご注意

- ・通話相手からメディア変更の要求を受けたときに、許容するかどうかをあらかじめ設定できます。
- ・登録した電話番号のみメディア変更を許可できるよう、設定を行えます。
- ・通話中の相手からのメディア変更を許可した場合、別途通話料が発生することがあります。



光BBユニットとパソコンが接続された状態で「セットアップメニュー」（5）より、設定を行います。

1

「詳細設定メニュー」画面の左側に表示されたメニューから、[ひかり電話設定] をクリックします。



2

[メディア変更機能設定] 欄の [▼] をクリックし、選択後に [OK] ボタンをクリックします。



## 設定内容一覧

① 常に許容する	お客様が発信者／着信者のいずれでも、通話相手からのデータ受信を受け付けます。
② 発信時のみ許容しない	お客様が発信者の場合は、相手からのデータ受信を拒否します。 ②を選択した場合、メディア変更を許可する電話番号の選択が可能です。[編集] をクリックして、該当の電話番号を入力します。 ※ここで設定した電話番号にメディア変更を許可するためには、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。また、登録した電話番号からメディア変更機能をご利用になる場合は、発信者側の発信者番号を「通知する」に設定してください。設定方法はご利用になる機器の取扱説明書をご覧ください。
③ 常に許容しない	お客様が発信者／着信者のいずれでも、通話相手からのデータ受信を拒否します。

3

「設定内容を登録しました。」と表示されます。  
画面の案内に従って、左側のメニュー欄下の [再起動] をクリックすると、光BBユニットが再起動し、設定が変更されます。

以上で設定は完了です。

# 音声優先モード

## 設定前のご注意

- ・音声品質を向上させるため、音声パケットを優先する機能です。
- ・音声パケットを優先すると、データ通信速度が低下する場合があります。



光BBユニットとパソコンが接続された状態で「セットアップメニュー」(5)より、設定を行います。

- 1 「詳細設定メニュー」画面の左側に表示されたメニューから、[ひかり電話設定]をクリックします。

2

[音声優先モード]欄の [▼] をクリックし、選択後に [OK] ボタンをクリックします。

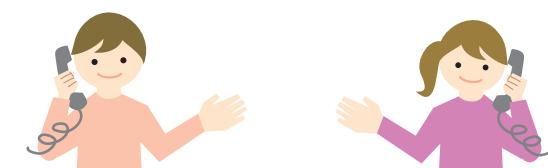
## 設定内容一覧

① 無効	音声優先処理を行いません。
② 優先	音声パケットを優先処理します。
③ 最優先	音声パケットを最優先で処理します。

3

「設定内容を登録しました。」と表示されます。画面の案内に従って、左側のメニュー欄下の[再起動]をクリックすると、光BBユニットが再起動し、設定が変更されます。

以上で設定は完了です。



# ひかり電話発着信履歴



光BBユニットとパソコンが接続された状態で  
「セットアップメニュー」(5)より、  
確認できます。

1

「詳細設定メニュー」画面の左側に表示されたメニューから、  
[ひかり電話発信履歴] または [ひかり電話着信履歴] をクリックします。



2

ひかり電話の発信履歴、または着信履歴が一覧表示されます。

<ひかり電話発信履歴表示例>

ひかり電話発信履歴				
No.	発信日時	通話開始日時	切断日時	発信元
	切断源	切断理由	相手先番号	発信番号
1	2010/09/27 18:22:44	2010/09/27 18:22:55	2010/09/27 18:23:47	-
	自切断	-	011	011
2	2010/09/08 10:35:44	-	2010/09/08 10:35:46	-
	接続先切断	482	011	011
3	2010/09/08 10:36:39	-	2010/09/08 10:36:41	-
	接続先切断	482	011	011
4	2010/09/08 10:36:57	-	2010/09/08 10:36:59	-
	接続先切断	482	112	011
5	2010/09/08 10:39:42	-	2010/09/08 10:39:48	-
	接続先切断	482	011	011
6	2010/09/08 10:47:28	-	2010/09/08 10:47:47	-
	接続先切断	500	011	011

※BBフォンでの発信履歴、着信履歴はここでは表示されませんので、WEBページ  
(<http://ybb.softbank.jp/member/yf/>) の「BBフォン通話明細」でご確認ください。



# ひかり電話機能ご利用Q & A



ひかり電話機能に申し込みましたが、いつから使用できますか？

NTT東日本／NTT西日本によるひかり電話の開通工事が完了した後、光BBユニットの「ステータス」ランプが緑色に点灯したらご利用いただけます。



ひかり電話の開通工事日は、NTT東日本／NTT西日本から送付の書面にてご確認ください。



BB Fonに申し込みますが、ひかり電話機能の発信と区別がつきません。



BB Fonで発信の場合は、「ププ」 という接続音が鳴ります。



ひかり電話機能で発信したいときはどうやって利用すれば良いですか？



通常の電話のかけ方と一緒に。ただし、BB Fonにお申し込みのお客様は、発信したい電話番号の前に「0000」(ゼロを4つ)をダイヤルしてください。



停電時にひかり電話機能を使用することはできますか？



停電時はご利用いただけません。

## BB Fonにお申し込みの場合（「BB Fon」ランプが緑色点灯時）

- ① 光BBユニットの「ステータス」ランプが緑色に点灯していることを確認します。
- ② 受話器を取り上げ、「ツー」という音を確認します。
- ③ 「0000」(ゼロを4つ)ダイヤルします。
- ④ BB Fonランプが橙色に点灯したら、続けて相手の電話番号をダイヤルします。

## 下記の場合、ひかり電話機能はご利用いただけませんのでご了承ください。

- ・光BBユニットおよび光BBユニットに接続しているNTT東日本／NTT西日本提供機器に電源が入っていない場合
- ・電話機と光BBユニットが接続されていない場合

# ひかり電話機能ご利用Q & A



ひかり電話機能で発信することができません

光BBユニットは正しく接続されていますか?  
光BBユニットに同梱されていた接続ガイドをご参照のうえ、もう一度、接続状況とランプの点灯状況をご確認ください



## 正常な光BBユニットランプ点灯例



「電源」ランプが消灯している場合、光BBユニットの電源アダプタを正しく接続してください。

「インターネット回線」ランプが消灯している場合、光BBユニットの電源を切った後に再度電源を入れなおしてください。

それでも消灯している場合は、光BBユニットまで通信が届いていない状態です。NTT東日本／NTT西日本によるフレッツ光開通工事がお済みかどうかをご確認ください。

「ステータス」ランプが消灯あるいは赤色に点灯している場合、いったん光BBユニットの電源を切った後に再度電源を入れなさい。

それでも消灯している場合は、NTT東日本／NTT西日本によるひかり電話開通工事がお済みかどうかをご確認ください。

ACR(LCR)機能を内蔵する電話機をご利用されていますか?

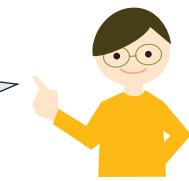


- ACR(LCR)機能を内蔵する電話機をご利用の場合、ACR(LCR)機能を「無効」に設定してください。
- 外付けのACR(LCR)アダプタ装置をご利用の場合は、取り外してください。
- 電話機にはACR(LCR)機能などを解除する番号に「0」を使用している機種があります。その際は、最初に解除番号を付けて発信してください。

→ 解除番号の「0」の数 + 「0000」 + 発信したい相手先の電話番号

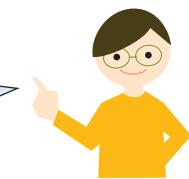
※設定方法等の詳細はお使いの電話機の取扱説明書をご確認ください。

お申し込みのフレッツ回線は「フレッツ光ネクスト」ですか?



ひかり電話機能は「フレッツ光ネクスト」をご利用のお客様を対象に提供するサービスです。「フレッツ光ネクスト」以外のフレッツ光サービスにお申し込みの場合は、ご利用いただけません。お申し込みのフレッツ光サービスをいま一度ご確認ください。

NTTが提供するひかり電話対応機器を接続されていませんか?



ひかり電話機能は、NTT東日本が提供するひかり電話対応ルータ、またはNTT西日本が提供するひかり電話対応機器を接続した状態ではご利用いただくことができませんので、必ずお取り外しください。光BBユニットに同梱の接続ガイドをご確認のうえ、正しく接続いただきますよう、お願ひいたします。

# ひかり電話機能ご利用Q & A



電話機のディスプレイに着信番号が表示されません

NTT東日本／NTT西日本へナンバー・ディスプレイをお申し込みいただいてますか？



ナンバー・ディスプレイは、NTT東日本／NTT西日本が提供するひかり電話の付加サービスです。ご利用される場合はNTT東日本／NTT西日本へお申し込みください。

お使いの電話機はナンバー・ディスプレイに  
対応していますか？



お使いの電話機がナンバー・ディスプレイ対応で、電源アダプタが接続されていることをご確認ください。詳細は、電話機の取扱説明書にてご確認ください。

BBフォンにお申し込みですか？

BBフォン050番号への着信番号を表示させるためにはBBフォンオプションサービスの「番号表示サービス」にお申し込みいただく必要があります。



下記の対応一覧表にて表示状況をご確認ください。

ナンバー・ディスプレイ…NTT東日本／NTT西日本が提供するひかり電話の付加サービスです。  
番号表示サービス…ソフトバンクBBが提供するBBフォンのオプションサービスです。

お申し込み状況	ひかり電話で着信	BBフォン050番号で着信
ナンバー・ディスプレイ お申し込みあり 番号表示サービス お申し込みあり	表示	表示
ナンバー・ディスプレイ お申し込みあり 番号表示サービス お申し込みなし	表示	非表示
ナンバー・ディスプレイ お申し込みなし 番号表示サービス お申し込みあり	非表示	表示
ナンバー・ディスプレイ お申し込みなし 番号表示サービス お申し込みなし	非表示	非表示

# ひかり電話機能ご利用Q & A



BBフォンに申し込んでますが、短縮ダイヤルを利用してひかり電話機能で発信できません



「セットアップメニュー」でひかり電話機能の詳細が設定できません

BBフォンをお申し込みのお客様が短縮ダイヤルを利用してひかり電話機能で発信される場合、設定にご注意が必要です。



BBフォンをご利用のお客様が、短縮ダイヤルを利用して発信される場合は、BBフォンでの通話となります。ひかり電話機能を利用して短縮ダイヤルをご利用される際には、先頭に「0 0 0 0」(ゼロを4つ)、ポーズ\*を1回付けた後に、相手先電話番号を登録してください。

→ 「0 0 0 0」 + ポーズ + 登録したい相手先の電話番号

\*ポーズとは、ダイヤルする際に少し間をあけること（待ち時間）を指します。ポーズの操作は電話機によって異なります（例：電話機の「ポーズ」ボタンを押す、等）。  
上記の手順で短縮ダイヤルで発信できない場合は、ポーズの数をさらに増やして再度ご登録ください。



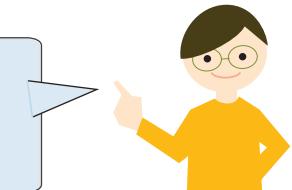
ひかり電話の付加サービス「キャッチホン」に申し込んでいれば、BBフォンの通話中にもキャッチホンが利用できるのですか？



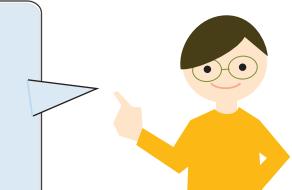
BBフォン050番号への着信時にはご利用いただけません。下記の動作状況をご確認ください。

ひかり電話の電話番号への着信 ⇒ キャッチホンご利用可能  
BBフォン050番号への着信 ⇒ キャッチホンご利用不可

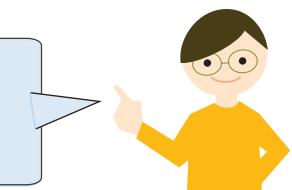
ひかり電話機能にお申し込みいただいてますか？  
お申し込みいただいてない場合は設定できません。



NTT東日本／NTT西日本による、ひかり電話の開通工事はお済みですか？  
ひかり電話機能がご利用いただける状態（光BBユニットのステータスランプが緑色に点灯）になるまで、設定はできません。



「110」「119」「118」で通話中、あるいは通話後の数分間は設定できません。



※「ソフトバンク」は当社またはグループ会社の登録商標または商標です。

※本誌の一部または全部を無断複写、転載することを禁じます。

※サービス内容および提供条件は予告なく変更することがあります。

※「フレッツ光」はNTT東日本／NTT西日本が提供するブロードバンドサービス「フレッツ光ネクスト」、「フレッツ・光プレミアム」、「Bフレッツ」の総称です。

※「フレッツ光ネクスト」、「Bフレッツ」はNTT東日本の登録商標です。

※「フレッツ光ネクスト」、「フレッツ・光プレミアム」、「Bフレッツ」はNTT西日本の登録商標です。

※その他、記載されている会社名、製品名およびサービス名称等は、各社の登録商標および商標です。

※本誌の本文中ではTM、®マークは明記しておりません。

※記載の内容は2011年4月14日現在のものです。